

パリ 2019年6月20日

天然ガス:ブームと暗い見通しの間で揺れ動く

天然ガス市場は活況を呈しており中期的には増加が見込まれるが、それほど明るくない未来を暗示する要因も多い

最近まで、天然ガスは化石燃料の中で「最もクリーン」だとされ、あらゆる指標が需要と生産の伸びを示していた。

しかし、市場の展開は速く、再生可能エネルギー源の人気が増し、経済的に実行可能な代替エネルギー源となってきた。

天然ガス— 輝かしい勢い

国際エネルギー機関によると、天然ガスは 2006 年以来、すべての化石燃料の消費量において、最も高い増加率を見せてきたという。天然ガスの需要は、主にアジアでの需要増によって、そしてなかでも「青空」政策で厳しい大気質の目標と石炭からガスへの義務的な切り替えを課す中国での需要増によって、増え続けるものと思われる。

ガスは、その豊富さ、多用途性、そして他の化石燃料より汚染が少ないことから、エネルギー生産の実用的手段であると考えられている。石炭に比べて、天然ガスは、二酸化炭素(CO₂)、粒子状物質(PM_{2.5})、二酸化硫黄(SO₂)、窒素酸化物(NO_x)の排出量が 40%少ない。迅速で信頼し得るバックアップを必要とし、一時的に止まることも多いソーラーパネルや風力発電基地などの再生可能エネルギーを補完するのに最もよく使われるのが天然ガスである。

天然ガスはまた、特に石化製品の原料として、エタンの形で産業プロセスに組み込まれもする。化学産業で使われる化石燃料の約 29%は天然ガスと関連の液体である。

しかし、霞がかかった未来

天然ガスは石油や石炭よりも燃やした際の排出が少ないが、決してクリーンなエネルギー源ではなく、地球温暖化のリスクを減らしはしない。また、シェールガスの抽出は汚染度が高く、大量の水を必要とするとともに、岩を砕くために土壌に化学薬品を注入しなくてはならない。この水圧破碎技術は水道水を汚染し、地域の安全な飲み水へのアクセスを脅かしもする。

さらに、再生可能エネルギーが天然ガスより安価になりつつある。国際的な金融グループである Lazard の最新のエネルギー・コスト分析(LCOE)によると、助成金を受けていない風力エネルギーは既に、天然ガスからの最も安価な発電方法との競争に勝てるようになってきているという。また、天然ガスの価格は変動が激しく、意思決定のプロセスに不確実性を増やす要素となっていることも忘れてはならない。

最終的に、蓄電の技術的な進歩を考えると、ガスを再生可能エネルギー源による発電を補佐するものとして使うというのが最終段階となるのだろう。設計・エネルギー会社 Wood McKenzie によると、2018 年、蓄電容量(GW/h)は 140%増加し、倍以上になったという。自動車製造の Tesla は既に、オーストラリアで、Hornsedale 風力発電基地にリンクした電池貯蔵システムのテストに入っている。技術はまだ初期段階ではあるが、多くの関係者や各国政府は、スウェーデンの Northvolt のような大きな電池貯蔵企業をそれ



P R E S S R E L E A S E

ぞれ開発したいと強く考えている。Northvolt は欧州最大の電池製造企業になることを目指している。

天然ガスの未来はまだ明るいだが、長期的には、地球を救う上でより大きな力となる他のエネルギーの余地があり、その未来は脅かされるだけでは済まない。

連絡先:

ジョナタン・ペレス - Tel. 03 5402 6108 - jonathan.perez@coface.com

Coface: for trade –共にビジネスを構築

70年の経験と最も幅広い地域のネットワークを持つことにより、コファスは取引信用保険、リスク管理およびグローバルエコノミーという分野において、世界有数のエキスパートとなりました。業界で最も機動的で、グローバルな取引信用保険のパートナーになるという目標のもと、コファスの専門家たちは世界経済の動きを常に分析しながら、50,000社の顧客事業の成功と成長、活性化のサポートを行っています。コファスグループのサービスとソリューションは、国内及び輸出市場で販売能力を向上するための与信判断のサポートと売掛債権の保全を含みます。2017年にはコファスの従業員は100カ国で4100名となり連結売上高は14億ユーロとなりました。

www.coface.jp

コファスSAはユーロネクスト証券市場のA部にて上場しています
ISINコード: FR0010667147 / ティッカーシンボル: COFA

